

# 英語科学習指導案

指導者：広島市立〇〇小学校

教諭 〇〇 〇〇

A I E 〇〇 〇〇

1 日時 平成22年12月〇日(〇)

2 学年 第6学年〇組

3 単元名 Lesson 8 「クイズをしようⅡ」

4 単元について

○ 本単元では、「連想」を基盤にしたクイズづくりが主たる活動である。そのねらいは三つある。一つ目は、一つのことばから他のことばを連想する楽しさを味わい、ことばへの興味・関心を高めることである。二つ目は、既習の単語を聞いたり話したりすることに慣れることである。三つ目は、クイズづくりやクイズ大会で、友達とのコミュニケーションを楽しむことである。連想活動を通していろいろな角度からことばを捉えることを体験したり、クイズを考えて出題するという興味深い活動を行ったりすることにより、既習の定型表現を活用したコミュニケーションの楽しさも味わうことができる単元となっている。

○ 本学級は、英語科の学習に一生懸命取り組み、楽しみながら活動している児童が多い。しかし、6年生も後半になると定型表現が長く高度になり、活動することが難しくなっている児童がいる。ふり返しカードにも、「Big Smile」や「Eye Contact」、「100までの数を言うことができたか」などの項目に対して「いいえ」と答える児童も出てきた。また、大きな声を出しにくくなっている児童や、学習に意欲をもつことができない児童もいる。目標をもたせたり、小さな頑張りを評価したりしながら、意欲的に活動できるようにしている。

○ 指導にあたっては以下の3点に留意したい。一つ目は、15分授業を充実させることである。クイズづくりは、ことばの量が豊富であるほどイメージを膨らませやすい。そこで、連想活動に取り組みやすくするために、これまで学習したことばを何度も聞いたり発音したりする時間を確保したいと考える。

二つ目は、英語に苦手意識をもっている児童や、学習に意欲をもてない児童への支援である。クイズの項目を日本語で提示して意味を確認したり、児童に寄り添って肯定的な言葉をかけたりすることで、児童が自信をもって活動に参加できるようにしたい。また、第1時でクイズを十分に楽しむ経験をさせたり、班で協力しながら活動することも認めたりすることで、楽しく学習に取り組めるようにしたい。

三つ目は、ことばを連想しやすくするための指導の工夫である。例題を十分に出题してクイズの形式に慣れさせたり、連想しにくい児童には副読本やヒントカードを参考にさせたりすることで、連想活動を支援し児童のアイデアを引き出していきたいと考える。

5 単元の目標

○ ことばの由来を知ったり、ことばを連想したりしてことばへの興味・関心をもつようにする。

○ 既習の単語を聞いたり話したりすることに慣れるようにする。

○ 自己紹介やクイズ大会を通して、友達と楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けるようにする。

6 単元の指導と評価の計画

時	主な学習活動	評価規準	評価規準の具体例
1	<b>わたしはだれでしょうクイズ</b> ことばの由来を知ったり、ことばを連想したりするクイズを楽しむ。	○ クイズを通してことばの連想を楽しんだり、ことばへの気付きを見つけたりしている。 【ア ことばや文化に関すること】	○ 「クイズを楽しんだか」という問いに「はい」と答えている。 (ふり返しカードの自己評価) ○ 「ことばやものがいろいろな国から来ていることが分かった。」「学習したことばを使ってクイズをつくってみたい。」など、ことばについて関心がうかがえる記述がある。 (ふり返しカードの記述)
2 本 時	<b>クイズづくり</b> 「わたしはだれでしょうクイズ」をつくる。	○ ことばを連想して「わたしはだれでしょうクイズ」をつくっている。 【ア ことばや文化に関すること】	○ クイズのヒントになることばを考え、ワークシートに書き込んでいる。 (行動観察) ○ 「ことばを連想してクイズをつくることができたか」という問いに肯定的な回答をしている。 (ふり返しカードの自己評価)
3	<b>クイズシートづくり</b> 英語を聞いてクイズシートをつくる。	○ 教師の英語を聞いたりジェスチャーなどを見たりして、指示どおりにクイズシートをつくらうとしている。 【イ 聞くこと・話すこと】	○ T2の問いに答えたり、指示のことばを繰り返して模倣して発音したりしようとしている。 (行動観察)
4	<b>クイズ大会</b> これまでにつくったクイズの発表を通して既習の単語を聞いたり話したりすることに慣れる。	○ ヒントのことばを聞き取るうとしたり、自分がつくったクイズを明瞭な声で発表したりしようとしている。 【イ 聞くこと・話すこと】	○ 聞き手に伝わる声でクイズを発表しようとしている。 (行動観察) ○ 「友達のつくったクイズのヒントを聞き取ることができたか」「聞き手の顔を見て、声の大きさに気を付けながら、自分のつくったクイズを英語で伝えることができたか」という問いに肯定的な回答をしている。 (ふり返しカードの自己紹介)

7 本時のねらい

- ことばを連想して自己紹介クイズをつくり、ことばへの興味・関心をもつようになる。

8 言語材料 I like ～. I live in ～. I am ～. I have ～. Who am I?

9 指導過程

時間	児童の活動	教師の支援		準備 評価
		T 1	T 2	
2分	<b>あいさつ</b> ・英語であいさつをしたり、教師の質問に答えたりする。 Good afternoon, ○○先生. I'm fine, thank you. How are you?  It's (sunny). It's December 17th.	・あいさつをして、気分や天気、曜日、月日などをたずねる。  Good afternoon, everyone.  How are you?  I'm fine, thank you. How's the weather today? What is the date today?		
5分	<b>ウォーミングアップ</b> ・歌 ♪ABC Song CD に合わせて歌う。 ・リレータイム 一人ずつ質問したり答えたりする。 What sports do you like? I like (baseball).	・児童と一緒に歌う。  ・Big Voice や Big Smile や Eye Contact の視点で評価する。	・児童の様子を見て回る。  ・リレーの一人目の役をして、児童に正しい発音を示す。	CD
3分	<b>学習課題の提示</b> ・T 2の「わたしはだれでしょうクイズ」を聞いてクイズに答える。  ・挙手をしてクイズに答える。 ・本時の学習課題を知る。	・T 2の「わたしはだれでしょうクイズ」を聞いてクイズに答えることを告げる。 ・出題順にヒントの欄に絵を提示していく。  ・学習課題を提示する。	・拡大したワークシートを掲示し、児童に向かってクイズを出題する。 I like running. I live in the zoo. I'm from Africa. I have a long neck. Who am I?  Yes, I am a giraffe.	拡大ワークシート  ヒントの絵  課題カード
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">「わたしはだれでしょうクイズ」をつくろう</div>				
7分	<b>慣れ親しむ活動</b>  ・T 2の後について発音する。	・前時の学習をふり返り、クイズの項目を日本語で確認する。  ①好きなもの	・再度、ゆっくり英文を読む。  ①I like ～.	クイズの項目カード

		②住んでいる場所 ③自分の性質(色や形など), 出身地 ④もっているもの ⑤「わたしはだれでしょう。」 ・必要があれば、黒板に英文を提示する。 ・意欲的に活動している児童を評価する。	②I live in ~. ③I'm ~./I'm from ~. ④I have ~. ⑤Who am I?	英文カード
20分	<b>連想活動</b>	<p>「わたしはだれでしょうクイズ」をつくろう</p> <p>① ワークシートを配付する。</p> <p>② クイズの答えにするものを決めて、連想したヒントになることばをワークシート(1)の右側に書く。(日本語や英語でよい。)</p> <p>※ 副読本 p.42 及び「身の回りの英単語 500」のページを参照する。</p> <p>※ 第5学年で学習した「連想ゲーム」を想起させ、クイズの答えにしたいものを決めてその単語からことばを連想するように助言する。</p> <p>※ わからないときは、班で協力し合ったり、挙手して教師にたずねたりするように伝える。</p> <p>③ 完成したら個人で話す練習をする。(T 2は発音の支援をする。)</p> <p>④ 班全員が完成したら、班の中で一人ずつ発表する。</p> <p>※ 早く終わった班はもう一つのクイズをつくるようにする。</p> <p>⑤ よく工夫されたユニークなクイズをみんなの前で紹介する。</p>		ワークシート 副読本 [ア]
7分	<b>ふり返り</b> ・ふり返りカードに記入する。	・ふり返りカードを読ませる。 ・児童の気付きを賞賛し、同様な意見の児童を確認する。 ・意欲的に活動していた児童を評価する。(笑顔, アイコンタクト, 声の大きさなど)	・賞賛の言葉を英語で伝える。 ・本時で学習した表現を確認する。	ふり返りカード [ア]
1分	<b>あいさつ</b>  Thank you, ○○先生. See you.		That's all for today. Thank you, everyone. See you.	